

第7回 生殖工学会 (SSRE) シンポジウム (予告)

テーマ：生殖工学技術の適応における諸問題

日時：2005年3月6日(日) 13:30-16:30
会場受付開始 13:00

場所：明治大学駿河台校舎リバティータワー8階1083教室
東京都千代田区神田駿河台1-1、Tel: 03-3296-4545

参加費：2000円 (学生1000円)

講演

1. ノックアウトマウス—ジーンターゲットングから生理機能解析まで
水野敦子 (自治医科大・薬理学)
2. HCV 遺伝子導入マウスに関する最近の話題
○石川孝之¹、渋谷一元¹、保井孝太郎²、三田村圭二³、上田進¹ (¹日本生物科学研究所、²東京都神経科学総合研究所、³あそか病院)
3. 胚盤胞培養の現状と今後の課題
○京野廣一、中條友紀子、熊谷志麻、山下綾子、八木亜希子 (レディースクリニック京野)
4. 精子分化についての話題提供
相澤明 (家畜改良事業団)

Call for SSRE Symposium

The editorial board of JRE requires your contribution to organization of 2005 Annual Symposium. We invite the members to bring your idea or request into the theme or topics of the symposium to ensure fruitful activity of the SSRE

*Contact to Shyoso Ogawa, SSRE, 901 St NagataniBldg.,4-52-11
Nishishinjuku, Shinjuku-ku, Tokyo. Tel 03-3370-5731*

Fax 03-3370-5732

Journal of Reproduction Engineering

(published January 28, 2005)

Edited & Published by Tsutomu Takeshima, SSRE Office

Printed by Yoshiaki Nakamoto, Koueisha Co.Ltd.

2-11-4, Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo 113-0033, Japan

Publishing Office of SSRE; 901 St Villa Nagatani Bldg., 4-32-11

Nishishinjuku, Shinjuku-ku, Tokyo 160-0023, Japan

Fax 03-3370-5732, e-mail ssre.ogawa@nifty.ne.jp

Society for the Study of Reproduction Engineering (生殖工学会) 会則

第1章 総則

第1条 (名称)

本会は、「Society for the Study of Reproduction Engineering」と称する。

第2条 (目的)

本会は、生殖工学の研究成果に関連する情報交換およびその成果の普及を図ることを目的とする。

第3条 (本部および事務局)

本会は、学会本部および事務局を東京都新宿区西新宿4-32-11-901に置く。

第2章 事業

第4条 (事業)

本会は、第2条の目的を達成するために次の事業を行う。

- (1) 学術集会の開催と会誌の発行
- (2) 資料および情報の提供
- (3) その他、本会の目的を達成するための事業

第3章 会員

第5条 (会員)

本会は、次の会員をもって組織する。

- (1) 生殖工学に関する研究に従事している者、またはこの会の主旨に賛同する者で、会誌を購読するために対価を納入する者および学生(大学院生を含む)とする。
- (2) この会の主旨に賛同する者で、学術集会に参加するため対価を納入する者および学生(大学院生を含む)とする。
- (3) 賛助会員は、この会の主旨に賛同する団体および会社とする。

第6条 (入会)

この会に入会しようとする会員は入会申込書に所定の事項を記入し、事務局に申し込むものとする。

第7条 (脱会)

会員が次に定める何れかに該当し、役員会で承認された場合は会員の資格を喪失する。その場合、会費は返納しない。

- (1) 会員本人が脱会を届け出た場合。
- (2) その他、本会則に違反し、あるいは本会の名誉を著しく毀損した場合。

第4章 役員

第8条 (役員)

本会に次の役員を置く。

- (1) 会長 1名
- (2) 副会長 1名
- (3) 理事 若干名
- (4) 監事 2名
- (5) 幹事 若干名

第9条 (責務)

役員の役割は次のとおりとする。

- (1) 会長は、この会を代表し、会務を統括する。
- (2) 副会長は、会長を補佐し、会長に事故ある時はその職務を代行する。
- (3) 理事は、この会の重要事項を審議する。
- (4) 監事は、本会の業務および会計の執行について監査する。
- (5) 幹事は、本会の会務に従事する。

第10条（選任と任期）

役員の選出は、次によって行う。

- (1) 会長および副会長は、理事の互選による。
- (2) 理事および監事は、会員の中から選出する
- (3) 幹事は、会員の中から会長が委嘱する。
- (4) 役員の任期は、2年とするが、再任を妨げない。

第5章 会議

第11条（会議）

この会の会議は、役員会とする。

- 2 決議は、出席総数の過半数を必要とする。

第12条（役員会）

役員会は、会長が召集し、事業、会の予算、会則の変更、その他の会務を審議決定する。

- 2 会長は、原則として毎年1回、役員会の決議事項を会員に対し報告する。

第6章 会計

第13条（会計年度）

本会の会計年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

第14条（経費）

本会の経費は、会費および寄付その他をもって、これにあてる。

第15条（会費）

購読費は、年額3,000円とする。学生会員の購読費は、年額1,000円とする。

賛助会員の会費は、1口以上とし、1口の年額は10,000円とする。

- 2 学術集会の参加費は、主催者が決定することとする。

付則

1. 本規約は、1998年11月1日に施行する。
2. 2000年9月25日に一部改正、同日より施行する。
3. 2002年11月16日に一部改正、同日より施行する。

JRE 和文誌執筆要項 (supplement 用)

1. 原稿は日本語（細明朝）で書く。
2. 原稿の第1頁目には、論文の表題（サイズ 16）、著者（サイズ 14）、所属（サイズ 14）、所属住所（サイズ 12）を記載する。
3. 表題、著者名、所属、所属住所の和文の下段に英文で明記する。
4. 原稿は楷書、横書き（A4 版）、平仮名、新かなずかいを用いる。また、外国語、外国人名、地名および薬品名は原語のまま用い、外国語で一般に日本語化しているものはカタカナを用いる。
5. 抄録は英文（フォント：Times, サイズ：12）で 200 words 以内に簡明にまとめる。
6. 原稿は論文の表題、著者、所属、住所、抄録、文献は1段組み、緒言、材料と方法、結果、考察は2段組みとする（緒言、材料と方法、結果、考察：サイズ 12）。
7. 抄録の下に和文で5語以内の Key words を付記する。
8. ランニングタイトルは和文で25字以内とする。
9. 文献（サイズ 12）は次の形式により、引用順に末尾に一括記載する。

a) 雑誌の場合

著者名：題名、誌名、巻数、頁一頁、年代、とする。

和文誌名は該当誌の規定または慣用の略名に従い、英文誌名は Index Medicus に従って略したものをを用いる。ページは通巻のページ数で最初と最終ページを記入する。

英文例) Ogawa S., Tada N., Hayashi K., Iwaya M., Sato M., Saito H., Ohta A., Takahashi M. and Kurihara T.: Possibility of testis mediated gene transfer as an alternative method for highly efficient production of transgenic animals. J. Reprod. Engineer. 1, 1-11, 1998.

和文例) 太田 信彦、野原 理、小島原 敬信、伊藤 真理子、斉藤 隆和、中原 健次、手塚 尚広、斉藤 英和、廣井 正彦: Vitriification 法によるヒト胚凍結の実際—妊娠、分娩に至った1症例. 日不妊会誌. 41、48—51, 1996.

b) 単行本の場合

著者名：題名、書名、編者名、発行所、発行地、pp 頁一頁、年次とする。（英文の場合は編者名、書名、の順）

英文例) Collins JA :Unexplained infertility. In :Keye WR Jr (ed), Infertility :Evaluation and Treatment. WB Saunders Co, Philadelphia, pp249-262, 1995.

和文例) 尾川 昭三：生殖機能細胞の凍結保存. 生殖機能細胞の培養法. 菅原 七郎・尾川 昭三編、学会出版センター、東京、pp 191—1999、1993.

10. 原稿は表紙を含めて6頁—8頁とする。
11. 本原稿は原著論文ではあるが、特にプロトコールを重視するため読者が技術的に十分理解できるよう図説を多く取り入れる。

研究開発分野のトータルサプライヤー
株式会社 町田医理科商会

ごあいさつ

当社は、創業以来、研究、開発、生産、検査、教育、医療に携わる皆様が、必要とされる商品を必要とされる時にお届けできるよう、社員一同努力して参りました。

近年、私たちの置かれている環境は急速な変化を遂げております。技術革新の進行は新しい可能性の世界を広げ、これまで以上に多岐にわたる機能が求められています。私たちは多様化するニーズにリアルタイムにお応えすべく決意を新たにしております。

今後、一層の精進をいたす所存でございますので、ご愛顧を賜りたくお願い申し上げます。

代表取締役 新井久得

株式会社 町田医理科商会

東京都町田市玉川学園 1-17-15

Tel: 042-725-9103, Fax: 042-725-9094

協賛会社

- ・ 株式会社 成茂科学器械研究所

東京都世田谷区南烏山 4-27-9

Tel: 03-3308-8233, Fax: 03-3308-2005

- ・ ホワイト食品工業株式会社

東京都新宿区西新宿 4-32-11-701

Tel: 03-3299-4433, Fax: 03-3299-4010